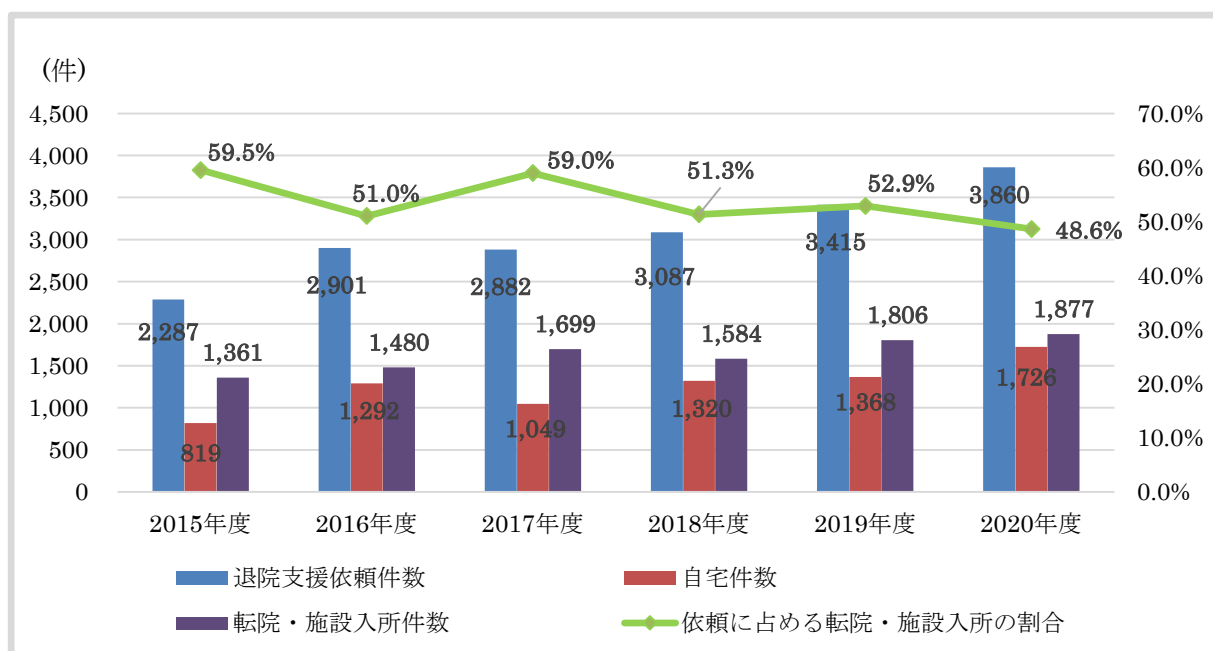


4. 退院支援における転院・転所患者の割合



2016年度より医療ソーシャルワーカーの病棟担当制を導入し、患者・家族により近い立場で、支援を行っている。退院支援件数は年々増加傾向にあり、2020年度の退院支援の依頼件数は3,860件であった。

退院支援先の約半数が病院・施設への転院・転所であり、自宅へ退院される件数を上回っている。これは、一次から三次までの救急患者のほか、予期せぬ緊急の入院患者など様々な背景をもつ患者の受け入れを行っており、医療依存度が高い、介護度が高いなど、在宅療養への移行が容易ではない患者への退院支援が要因と考えられる。更に自宅への支援件数が増加傾向にあることから依頼に占める転院・施設入所割合が50%を下回る結果となった。

今後も医療機関や療養施設などとの連携を強化し、退院支援の早期介入と患者・家族のニーズに応じたと質の高い支援を実施していきたい。